

新牛深高校 Q & A

Q1 総合学科とはどういう学科ですか。

(答) みなさんが高校と聞いてイメージするのは、牛深高校や天草高校のような普通科の高校、天草工業高校や熊本商業高校のように、工業や商業などある分野を専門的に学ぶ専門学科の高校だと思います。河浦高校や芥明高校には、普通科も農業の専門学科もありますが、生徒はどれか1つの学科を選んで勉強することになります。総合学科の高校では、一人一人の進路希望や興味・関心に応じて普通科目も専門教科の科目も勉強することができます。総合学科は普通科と専門学科、両方の良さを持つ学科と言えます。

Q2 総合学科の特色は何ですか。

- (答) 1) 1年次にすべての生徒が、「産業社会と人間」という科目の授業を受け、体験的な学びなどをおして、自分についてよく知り、自らの生き方や将来就きたい職業について深く考えたりします。
- 2) 総合学科は単位制の学校です。
- 3) 2年次以降は、進路目標に応じて選択した科目を中心に学習します。
- 4) 授業は、グループ学習や少人数での授業の形態が増えてきます。
- 5) 多くの先生方との個別面談の機会を設け、進路指導・学習指導をきめ細かに進めます。

Q3 牛深高校の普通総合学科とはどのような学科なのですか。

(答) 総合学科は普通科目から専門科目まで、幅広い選択科目の中から興味・関心や進路希望に応じて生徒が自分で選択履修するところが大きな特徴です。新しい牛深高校は、牛深高校と河浦高校普通科を再編・統合してできた学校です。ですから、新しい牛深高校では、商業や家庭などの専門科目も開設しますが、あわせて数学や英語といった普通科目を充実させます。普通科目の充実とは、具体的には、次の3点です。

まず1点目、上級学校への進学、就職、公務員など、あらゆる進路希望に対応する授業を行うことです。少人数の授業も開講できますので、一人一人の進路希望に合った授業となりますし、分かるまで先生方から勉強を習うことができます。次に2点目、大学で行うような専門的な授業を行い、皆さんの勉強への興味・関心を高めることができます。3点目、基礎学力がきちんと身に付きますので、専門科目の勉強も深まり、より高いレベルの資格取得に挑戦することができます。このように、普通総合学科では、総合学科としての特性を生かしながら、進路希望100%達成のために必要な学力をつけることができます。

Q4 「産業社会と人間」とはどんな勉強をするのですか。

(答) 自分を見つめ、自分の将来を考える科目として総合学科の生徒の出発点となる科目です。「学校訪問」「企業訪問」「外部講師による講話」「科目選択ガイダンス」「先生方の面談」等を通じて、自分が進むべき進路、そして学ぶべき科目を決定していきます。

Q5 総合学科はどんな生徒に向いていますか。

(答) 1) 興味・関心がはっきりしていて、主体的に学びたいと思っている生徒。
2) 大学等への進学を希望し、学力を着実に高めたいと考えている生徒。
3) 一般企業等への就職を希望し、自分に合った職業を選びたいと考えている生徒。
4) 今は何になるか決まっておらず、総合学科での学習を通して、自己の適性と社会について学び、迷いなく進路を決めたいと考えている生徒。
実は、総合学科はすべての生徒の可能性に対応しています。

Q6 系列とは何ですか。

(答) 進路実現に向けて効率よく学習ができるよう、体系性や専門性において関連する教科・科目をまとめたものです。系列は学科やコースとは異なるので、自分の進路に必要な教科・科目については、系列を越えて選択することができます。しかし、条件等によりすべてが自由に選択できるとはかぎりません。

Q7 系列に人数の制限があるのですか。

(答) 学科やコースとは異なり、系列そのものに人数の制限はありません。

Q8 選択科目に人数の制限があるのですか。

(答) 施設・設備の関係で人数の上限を設定する科目が出てくるかもしれませんが、やむを得ず人数制限を超えた場合には、生徒や保護者の方と相談して、進路希望に大きな影響を及ぼさないように配慮します。
逆に、少人数の場合では、進路に関わる科目等については、可能な限り開講することとしています。

問9 単位とは何ですか。

(答) 1年間で、その科目をどれだけの時間勉強するかということを表すのが「単位」です。例えば、1年間、週に2回の授業がある科目は「2単位」と表します。

Q10 「履修(りしゅう)」と「修得(しゅうとく)」について教えてください。

(答) 授業にきちんと出席していれば、その科目を学習したとして「履修」が認められます。そのうえで、さらに学習の成果を認められれば「修得」となります。単位制高校における単位認定は、この原則に忠実な形で行われます。そこで、①「履修」も「修得」も認められた場合(単位認定)、②「履修」は認められたが「修得」は認められなかった場合(単位不認定)、③「履修」も「修得」も認められなかった場合(単位不認定)と、3つのパターンが考えられます。

一般的に言う「必修科目」とは、「必履修科目」のことです。学習指導要領によると、必履修科目等は必ず「履修」しなければいけませんが、「修得」までは求められていません。(※必履修科目を履修したうえで、ほかの科目で学校が決めた必要な修得単位数を満たしていれば卒業ができる)

そこで②のようなことが起こります。しかし、卒業に必要な修得単位数が決められているため、②や③になった場合は下級生のクラスに行って、単位が認められなかった科目を受け直すことがあります。

学年制の学校では、「履修＝修得」というとらえ方をします。そのため、全ての科目で「履修」と「修得」の両方を同時に認められなければ進級することができません。

Q11 「単位制」って何ですか。

(答)「単位制」は、決められた必履修科目以外は、自分で学びたい教科・科目を選択し、在学中3年間で卒業に必要な単位数を修得すれば卒業できる仕組みです。原則として原級留置はありません。

それに対して「学年制」は、学年ごとに決められた教科・科目をすべて学び、次の学年へ進級する仕組みです。したがって、1年間に定められた単位数を修得できないと、再び同じ学年を繰り返さなければなりません(原級留置、留年)。

Q12 新校は「原級留置(留年)」がないと聞いたのですが。

(答) 単位制高校には、原則として原級留置はありません。3年間のうちに必要な単位数を修得すれば卒業できるのが、単位制高校です。単位認定をされなくても、次の年次に進むことは可能です。ただし、学校で決められている単位数を修得できなかった場合は、4年次以降も高校に残り、単位修得を目指すこととなります。

Q13 選択科目はいつ頃までに決めるのですか。

(答) 系列や教科によるガイダンスが行われ、1回目の希望調査をします。その後、夏休みに三者面談を行い、選択科目と将来の進路について相談します。自分の将来をよく考えて、慎重に選択科目を検討します。夏休み後もう一度選択科目の希望調査を実施し、調整して最終的には10月末頃までに決定することになります。

Q14 授業はどのように受けるのですか。

(答) 1年次では、ほとんどの教科・科目の授業をクラス単位で受けます。選択する教科・科目は、芸術は「音楽」または「書道」、選択科目は「数学A」、「英語会話」、「生活産業基礎」、「ビジネス基礎」を予定しています。
2年次生以降はクラス単位の授業が少なくなるので、生徒は各自のロッカーで荷物を管理し、授業の行われる教室に教材を持って移動します。

Q15 クラスは他の学校と違う形なのですか。

(答) 学年制の学校と同じようにクラスがあり、担任・副担任の先生がつきます。朝礼・清掃・終礼も毎日行います。ホームルーム活動は、基本的にクラス単位で行います。

Q16 いろいろな資格を取得したいのですが。

(答) 商業系の資格はもちろん、多くの資格を取得するために検定を受検することができます。次のような資格・検定の取得を目指すことができます。

- | | | |
|------------------------------|-----------------------------------|--------------------------------|
| <input type="radio"/> 漢字能力検定 | <input type="radio"/> 実用英語技能検定 | <input type="radio"/> 実用数学技能検定 |
| <input type="radio"/> 電卓実務検定 | <input type="radio"/> ビジネス文書実務検定 | <input type="radio"/> 簿記実務検定 |
| <input type="radio"/> 情報処理検定 | <input type="radio"/> 家庭科技術検定（食物） | |

Q17 卒業後の進路はどうなるのですか。

(答) 総合学科では、自分の進路に合わせた教科・科目を選択して学ぶことができるので、幅広い進路希望に対応します。文理総合系列は、大学や医療・看護系への進学、公務員、一般企業への就職を目指します。専門教養系列は、保育、福祉、体育、音楽系への進学や就職をめざします。情報ビジネス系列は、商業系への進学や就職を目指します。専門科目を勉強して取った資格を生かして、進学することも可能です。

Q18 通学支援について教えてください。

(答) 現段階で、県教育委員会から説明があったことをお示しします。

まず、運行ルートは①高浜～崎津～河浦～白木河内～牛深高校、②宮野河内～白木河内～牛深高校の2ルートで、学校がある日は朝夕各2便、土日は各1便です。対象地域は河浦中学校区・天草中学校区になります。御家庭で負担していただく金額ですが(新校と御家庭との距離によって異なりますが)、最も遠い所で月額10,000円、最も近い所で月額3,000円程度となります。スクールバスになるのか、貸切タクシーになるのか、ほかの方法になるのか、まだ交通手段は決まっていません。

【参考・目安(負担額/月額定期代)】

高浜 10,000円/22,330円、崎津 7,500円/18,530円、

河高前 6,400円/16,700円、宮野河内 7,700円/18,780円

Q19 寮はありますか。

(答) 現在のところ寮はありません。下宿先については、学校では斡旋していませんが、御相談ください。

■学校説明会や体験入学で実際にあった質問です。

(※Q1～Q19と重なっている質問もありますが、掲載しています。)

(中学校の先生から)

Q 専門教養系列や情報ビジネス系列では、どのような資格が取れますか？

(答) 専門教養系列では食物調理技術検定、情報ビジネス系列では簿記やワープロなど、ほかに漢字検定や英語検定なども取得が可能です。

※Q16を参考にしてください。

(中学校の先生から)

Q 他校からの転入は、どうなりますか？

(答) 前の在籍校で受けた授業と似ているものはないか、読み替えることはできないかなどを検討し、できるだけ生徒の不利にならないよう、柔軟に対応していきます。

(保護者の方から)

Q 苦手な科目は取らず、好きな科目だけ選択するような偏ったやり方でも卒業は認められるのですか？

(答) まず、必履修科目(必ず履修しなければならない科目)を履修しなければ卒業できませんので、この必履修科目を取るようになります。

また、国、数、英は、どの進路においても基本となる教科なので、毎年必ず選択するように指導していきます。

さらに、選択科目を決めるにあたっては、担任、教科担任、生徒が一緒になって、本当に進路に合った科目なのか、本当にこの選択で卒業ができるのかを考えながら決めていきますので、好きな科目だけを選択することにはなりません。

(中学校の先生から)

Q もし1年次で単位を落としたら、2年次に下級生と一緒に授業を受けることもあるそうですが、そのときの授業の取り方はどうなりますか？留年がないならば、取った単位が少なくても卒業できるのですか？

(答) 必履修科目の履修が認められなかった場合に、もう一度履修する必要があります。

そのときは選択科目を後回しにすることになります。また、卒業するために必要な修得単位数が決められているので、それをクリアするまでは学校に在籍することになります。

(体験入学で中学生から)

Q 系列に人数制限はありますか？

(答) 系列に人数制限はありません。設備などの関係で、選択科目の受講者数が制限することがあるかもしれませんが、原則として、本人の希望を最優先します。

(体験入学で中学生から)

Q なぜ新校で単位制にしたのですか？

(答) 一人一人の進路や興味・関心に沿って授業を受けられるように単位制にしました。